

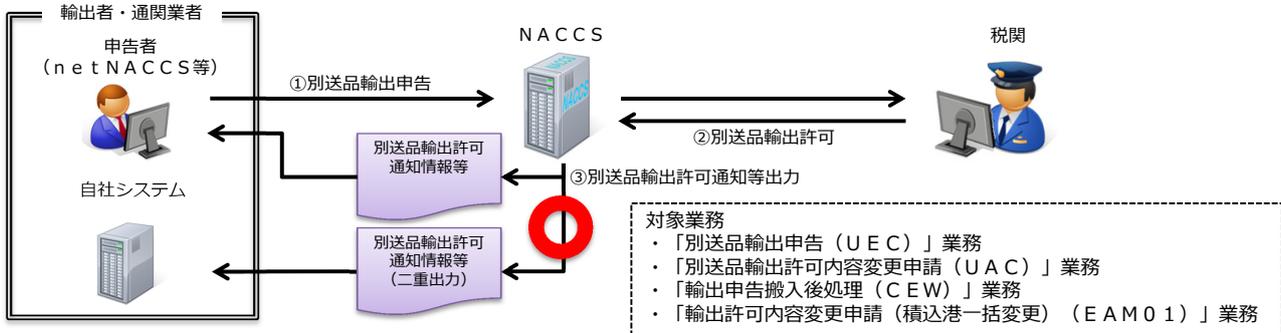
## Ⅶ 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第15回 WG	基本 IV-6-他	別送品輸出許可通知情報等の二重出力の可能性
----	----------	------------	--------------	-----------------------

- 別送品輸出許可通知情報等について、二重出力用の出力情報コードを追加する。

### 詳細仕様検討結果

二重出力用の出力情報コードを設定し、申告者の自社システム宛への出力を可能とする。



出力情報	海 上		航 空	
	出力情報コード (既存)	二重出力用出力情報コード	出力情報コード (既存)	二重出力用出力情報コード
別送品輸出許可通知情報 (簡易)	SAE1KF	SA <u>Y</u> 1KF	AAE1KF	AA <u>Y</u> 1KF
別送品輸出許可通知情報 (書類・検査)	SAE2KF	SA <u>Y</u> 2KF	AAE2KF	AA <u>Y</u> 2KF
別送品輸出許可内容変更通知情報 (簡易)	SAE461	SA <u>Y</u> 461	AAE461	AA <u>Y</u> 461
別送品輸出許可内容変更通知情報 (書類・検査)	SAE462	SA <u>Y</u> 462	AAE462	AA <u>Y</u> 462

## 航空業務編

## Ⅶ 詳細仕様検討結果

入出港	航空	第12回 WG	基本Ⅲ-3	1便あたりの旅客数の拡大
-----	----	---------	-------	--------------

- 航空入出港業務における1便あたりの旅客数の制限値について、700人から999人に変更する。

### 詳細仕様検討結果

航空入出港業務における1便あたりの登録可能な旅客数を700人から999人に拡大する。  
これに伴い、以下の変更を実施する。

#### 1. オンライン業務の変更

- ① 旅客情報繰返数を最大999件に変更する。
- ② 出力情報において、旅客情報繰返数を最大999件に変更する。

#### 2. 変更対象業務

- ① 「旅客氏名表報告呼出し (PLR)」業務
- ② 「旅客氏名表報告 (PLR01)」業務
- ③ 「入出港届等情報照会 (IGD)」業務

#### 3. EDIFACT電文のマッピングの変更

以下の2件について、旅客情報相当部分の繰返数を最大999件に変更する。

- ① PLR110
- ② PLR210

## Ⅶ 詳細仕様検討結果

貨物	航空	第12回 WG	基本Ⅲ-3	スプリット便数の拡大 (輸出入)
----	----	---------	-------	------------------

- 航空輸出入業務における1MAWBあたりの登録可能なスプリット便数の制限値について、20便から30便に変更する。

### 詳細仕様検討結果

航空輸出入業務における1MAWBあたりの登録可能なスプリット便数を20便から30便とする。  
これに伴い、入出力画面・帳票の変更及び制限値チェックを行っている業務についても併せて変更を実施する。

(対象業務は下表のとおり)

輸 入			輸 出		
業 務	制限値 チェック の変更	画面・帳票 の変更	業 務	制限値 チェック の変更	画面・帳票 の変更
AWB予備情報登録 (AAW)	●		搭載便割当情報登録呼出し (FLI)	●	
積荷目録事前報告 (ADM01)	●		搭載便割当情報登録 (FLI01)	●	
AWB情報登録 (輸入) (ACH)	●	●	搭載便割当情報訂正呼出し (FLF)	●	
貨物確認情報登録 (PKG)	●	●	搭載便割当情報訂正 (FLF01)	●	
AWB情報訂正 (CAW)	●	●	搭載完了登録 (便単位) 呼出し (CLA)	●	
貨物確認情報訂正 (CPK)		●	搭載完了登録 (便単位) (CLA01)	●	
ULD引取情報登録呼出し (UDA)	●		搭載完了登録 (AWB単位) 呼出し (CLB)	●	
ULD引取情報登録 (UDA01)	●		搭載完了登録 (AWB単位) (CLB01)	●	
混載貨物確認情報登録 (HPK)	●		FCM作成・送信 (FCM)	●	
混載貨物確認情報訂正 (CHP)	●		搭載完了強制終了登録呼出し (CLF)		●
搬入確認情報登録 (システム対象外保税運送) (OIN)	●	●	搭載完了強制終了登録 (CLF01)		●
輸入貨物情報変更登録 (CAI01)	●	●	輸出貨物情報照会 (IGS)		●
輸入貨物情報変更登録呼出し (CAI)		●			
輸入貨物情報照会 (IAW)		●			

## Ⅶ 詳細仕様検討結果

貨物	航空	第9回 第11回 WG	基本 Ⅲ-3	1MAWBあたりのHAWB件数の拡大
----	----	----------------	-----------	--------------------

- 航空輸出入業務における1MAWBあたりのHAWB件数の制限値について、現行の3,000件から見直しを実施する。

### 詳細仕様検討結果

航空輸出入貨物における1MAWBで登録可能なHAWB件数を最大3,000件から9,999件に拡大する。

#### 【輸入】変更対象業務

業務コード	業務名
HCH01	HAWB情報登録
HPK	混載貨物確認情報登録
CHA	HAWB情報訂正
1HA01	HAWB貨物本申告自動起動1

また、下記の業務から自動起動されるHAWB本申告自動起動の件数も最大9,999件へ拡大する。

業務コード	業務名
ADM01	積荷目録事前報告
ACH	AWB情報登録
CAW	AWB情報訂正
OIN	搬入確認登録（システム対象外保税運送）
OUT	搬出確認登録（一般）
KAM01	貨物移動情報登録

#### 【輸出】変更対象業務

業務コード	業務名
HDF01	混載仕立情報登録
BII01	個別搬入確認登録
ULA	積付結果登録（AWB・HAWB単位）
ULM01	積付結果登録（MAWB単位）
EXA01	搬出確認登録（AWB・HAWB単位）
EXM01	搬出確認登録（MAWB単位）
EXR02	搬出確認登録（輸入保税蔵置場）輸出情報登録
1BL <sup>注)</sup>	搬入確認（多数件処理）
1XU <sup>注)</sup>	搬出確認登録（ULD単位多数件処理）
1XC <sup>注)</sup>	搬出確認取消（多数件処理）
1CU <sup>注)</sup>	搭載完了B（多数件処理）

※ HAWB登録件数制限値チェック件数が最大9,999件に変更となることでLDR情報の電文長がシステム制限値（700K）を超える場合がある。その際は超過分を分割して出力する仕様とする。

注) 多数件処理で最大件数の入力があると数十分の処理時間が必要。



## Ⅶ 詳細仕様検討結果

貨物	航空	第14回 WG	基本 Ⅲ-3 Ⅳ-6-他	「HAWB情報登録（輸入）（HCH01）」業務の入力件数の拡大
----	----	------------	--------------------	---------------------------------

- 「HAWB情報登録（輸入）（HCH01）」業務及び「HAWB情報訂正（CHA）」業務において、1業務で入力可能なHAWB件数の見直しを実施する。

### 詳細仕様検討結果

- 「HAWB情報登録（輸入）（HCH01）」業務及び「HAWB情報訂正（CHA）」業務において、1業務で入力可能なHAWB件数を10欄から20欄に拡大する。なお、これに併せて、以下の出力情報もHAWB件数欄を20欄に拡大する。

業務コード	出力情報名	出力情報コード	出力先業種		
			保税蔵置場	通関業	混載業
HCH01	搬入状況通知情報（輸入）	AAS011	○		○
	搬入状況通知情報（輸入）	AAS011	○		○
CHA	訂正（保留）控情報B	AAS028			○
	不一致情報B	AAS022		○	



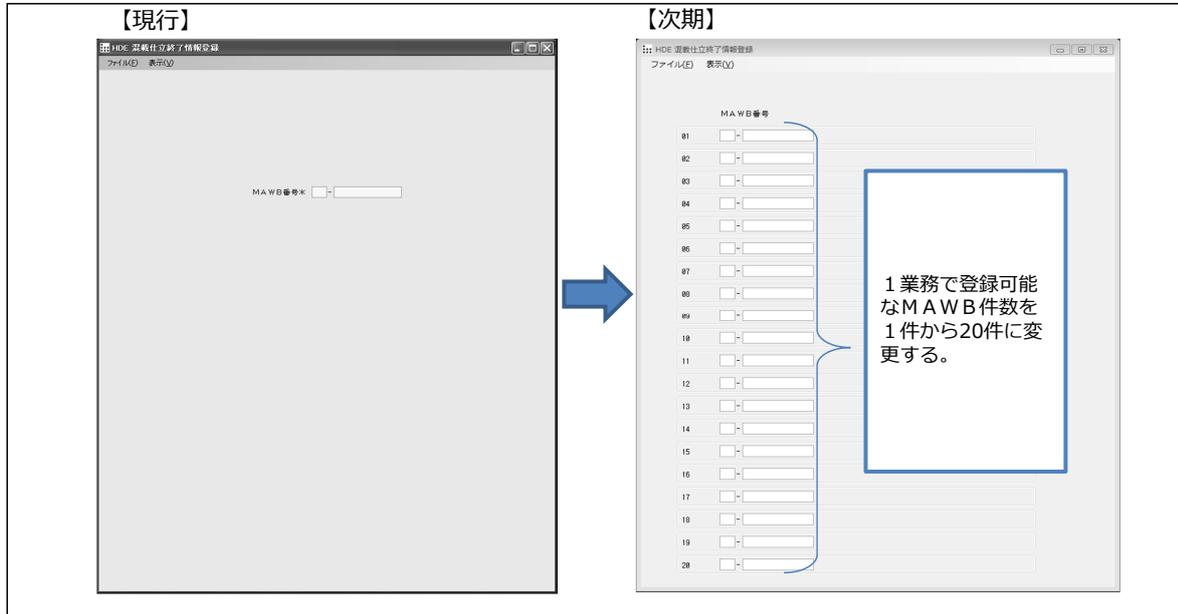
## Ⅶ 詳細仕様検討結果

貨物	航空	第14回 WG	基本 III-3 IV-6-他	「混載仕立終了情報登録（HDE）」業務の複数件一括処理機能の追加
----	----	---------	-----------------	----------------------------------

- 「混載仕立終了情報登録（HDE）」業務において、1業務で登録可能なMAWB件数の見直しを実施する。

### 詳細仕様検討結果

混載仕立終了情報登録（HDE）」業務において、1業務で登録可能なMAWB件数を1件から20件に変更する。なお、欄数の複数化に伴い、途中欄のMAWB番号の取り消しを可能とするため、欄の途中における空欄の入力を可能とする。



## Ⅶ 詳細仕様検討結果

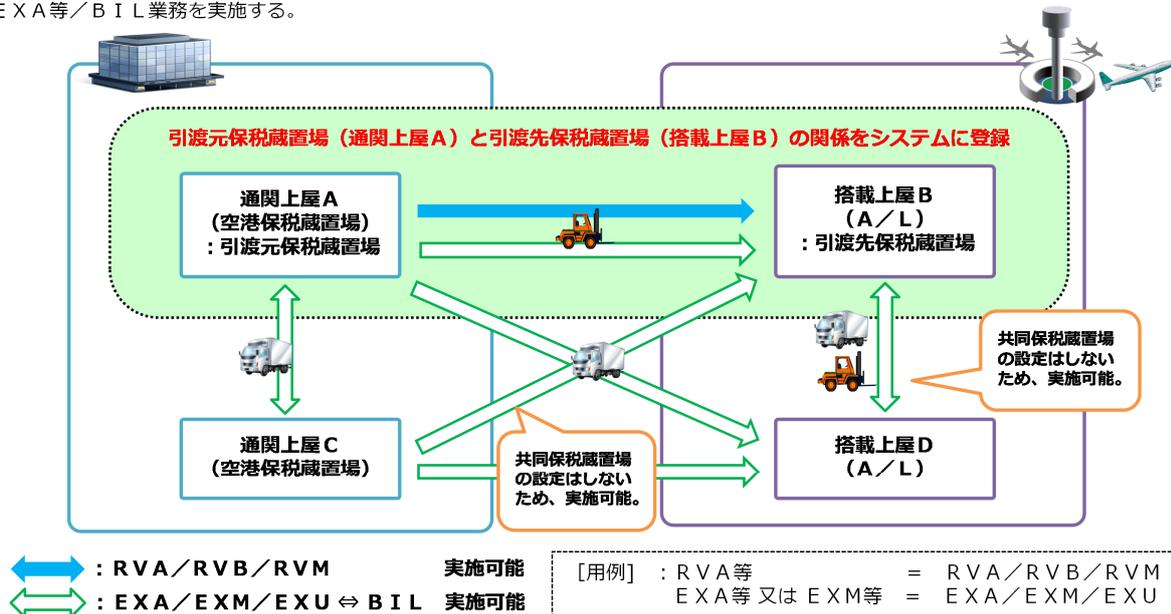
貨物	航空	第16回 WG	基本 IV-6-12	RVA業務等の見直し（1）
----	----	---------	------------	---------------

- 一部の空港地区において、RVA等業務と通常のEXM等業務の併用を希望する利用者があるが、現状では、RVA等業務を利用可能とする設定を実施した場合、通常の搬出入業務の利用が制限されるため、これを改善する。

### 詳細仕様検討結果

税関が認めた場合に限り、あらかじめ指定した引渡元保税蔵置場と引渡先保税蔵置場の関係をシステムに登録することで、RVA等業務（注）と通常の搬出入業務の併用を可能とし、従来の共同保税蔵置場における利用制限を解消する。また、「航空輸出貨物搬出入データ（S14）」に反映するため、上記の関係がシステムに登録されている場合における編集処理について見直しを行う。

（注）現在、共同保税蔵置場で利用可能なRVX業務は不可とし、搭載上屋から通関上屋への移動が必要となった際は、従来どおり不積返送承認後にEXA等/BIL業務を実施する。



## Ⅶ 詳細仕様検討結果

貨物	航空	第16回 WG	基本 IV-6-12	RVA業務等の見直し(2)
----	----	---------	------------	---------------

### 詳細仕様検討結果

#### 1. オンライン業務の変更

前記のシステム登録をした保税蔵置場間において、以下の貨物引渡し登録業務を可能とする。

「航空会社向貨物引渡し登録(航空会社単位)呼出し(RVA)」業務
「航空会社向貨物引渡し登録(航空会社単位)(RVA01)」業務
「航空会社向貨物引渡し登録(AWB・HAWB単位)呼出し(RVB)」業務
「航空会社向貨物引渡し登録(AWB・HAWB単位)(RVB01)」業務
「航空会社向貨物引渡し登録(MAWB単位)呼出し(RVM)」業務
「航空会社向貨物引渡し登録(MAWB単位)(RVM01)」業務

#### 2. 管理資料収集条件の変更

前記のシステム登録をした保税蔵置場間において貨物引渡し登録業務が行われた場合、以下の管理資料へ反映する。

S14 航空輸出貨物搬出入データ	S08 引渡し貨物状況データ
------------------	----------------

#### 3. 「輸出貨物情報照会(IGS)」業務

前記のシステム登録をした保税蔵置場間において貨物引渡し業務が行われた場合、「輸出共同蔵置場」欄には何も出力しないこととする。

輸出貨物情報照会情報(搬入情報1)(AAT131)	輸出貨物情報照会情報(蔵置情報)(AAT135)
輸出貨物情報照会情報(搬入情報2)(AAT132)	

## Ⅶ 詳細仕様検討結果

貨物	航空	第13回 第16回 WG	基本 IV-6-他	LDRにおける出力項目の見直し及びLDR情報の分割(1)
----	----	-----------------	-----------	------------------------------

- ・「搬出確認登録呼出し(EXM又はEXA)」業務で処理されたLDR単位の搬出総個数の表記を可能とする。
- ・1MAWBあたりのHAWB件数の拡大に伴い、LDR情報の分割出力を可能とする。

### 詳細仕様検討結果

#### 1. LDR単位の搬出総個数を出力するように以下のとおり変更する。

- ①「搬出確認登録(AWB・HAWB単位)(EXA01)」業務等で出力されるLDR情報について、「搬出総個数」の項目を追加し、LDR情報に紐づくULD、AWB及びHAWBの搬出個数の合計を出力する。
- ②ULDの場合は搬出された積み付け個数を、バラ貨物の場合はAWB又はHAWBの搬出個数の合計を出力する。

<変更対象業務>

- ・「搬出確認登録(AWB・HAWB単位)(EXA01)」業務
- ・「搬出確認登録(MAWB単位)(EXM01)」業務
- ・「搬出確認登録(ULD単位)(多数件処理)(1XU)」業務
- ・「搬出確認登録(輸入保税蔵置場)輸出情報登録(EXR02)」業務

<変更対象出力情報>

- ・LDR情報(AAT032)

(参考) LOCAL DELIVERY RECEIPT 出力イメージ

```

<AIR/EXP>                                yyyy/MM/dd HH:mm 1 / 2
LDR XXXXXE                                LOCAL DELIVERY RECEIPT

TO XXXXE FROM XXXXE PORT XXE DATE yyyy.MM.dd ENDT X TRK XXXXE TRM XXXXXXXXE
( XXXXE )                                     TPCS 123,456

B  AWB  PCL  LED  A/L  FLT  PCS  ZPCS  WT(KGMD)  COMMODITY
SFC                                     ULP  DST
X  X   XXX XXXXXX1XXXXXXXXXXE  XE  123,456 / 123,456  X  12,345,678 XXXX
XXE  X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X
X  X   XXX XXXXXX1XXXXXXXXXXE  XE  123,456 / 123,456  X  12,345,678 XXXXXXXX1XXXXXXXXXX2E
XXE  X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X
X  X   XXX XXXXXX1XXXXXXXXXXE  XE  123,456 / 123,456  X  12,345,678 XXXXXXXX1XXXXXXXXXX2E
XXE  X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X   X
    
```

## Ⅶ 詳細仕様検討結果

貨物	航空	第13回 第16回 WG	基本 IV-6-他	LDRにおける出力項目の見直し及びLDR情報の分割(2)
----	----	-----------------	--------------	------------------------------

### 詳細仕様検討結果

#### 2. LDR情報の分割

1 MAWBあたりのHAWB件数を最大3,000件から最大9,999件に拡大することにより、LDR情報が700KBを超える電文となるケースがあることから、以下のとおり分割して出力する。

**1通目 (LDR情報\_AAT032)**

先頭ページ

```
<A I R / E X P >
LDR XXXXXX XE
LOCAL DELIVERY RECEIPT
TO XXXXE FROM XXXXE PORT XXE DATE yyyy.MM.dd KND X TRK XXXXE TRN XXXXXXXX
( XXXXE )
TPCS 12.345.678
B ARB PCS ZPCS WT(KGD) COMMODITY
SPC PCL LED A/L FLT ULP DST AG/CD RMK
X X XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 123.456 123.456 12.345.678 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX2E
XXE X XXE XE XXXXXE / XXXXE X XXE XXXE XXXE X X X
X X XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 123.456 123.456 12.345.678 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX2E
XXE X XXE XE XXXXXE / XXXXE X XXE XXXE XXXE X X X
X X XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 123.456 123.456 12.345.678 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX2E
XXE X XXE XE XXXXXE / XXXXE X XXE XXXE XXXE X X X
```

最終ページ

```
<A I R / E X P >
LDR XXXXXX
B ARB PCS ZPCS WT(KGD) COMMODITY
SPC PCL LED A/L FLT ULP DST AG/CD RMK
X X XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 123.456 123.456 12.345.678 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX2E
XXE X XXE XE XXXXXE / XXXXE X XXE XXXE XXXE X X X
X X XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 123.456 123.456 12.345.678 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX2E
XXE X XXE XE XXXXXE / XXXXE X XXE XXXE XXXE X X X
X X XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 123.456 123.456 12.345.678 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX2E
XXE X XXE XE XXXXXE / XXXXE X XXE XXXE XXXE X X X
```

**2通目 (LDR情報\_AAT032)**

先頭ページ

```
<A I R / E X P >
LDR XXXXXX XE
LOCAL DELIVERY RECEIPT
TO XXXXE FROM XXXXE PORT XXE DATE yyyy.MM.dd KND X TRK XXXXE TRN XXXXXXXX
( XXXXE )
TPCS 12.345.678
B ARB PCS ZPCS WT(KGD) COMMODITY
SPC PCL LED A/L FLT ULP DST AG/CD RMK
X X XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 123.456 123.456 12.345.678 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX2E
XXE X XXE XE XXXXXE / XXXXE X XXE XXXE XXXE X X X
X X XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 123.456 123.456 12.345.678 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX2E
XXE X XXE XE XXXXXE / XXXXE X XXE XXXE XXXE X X X
X X XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 123.456 123.456 12.345.678 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX2E
XXE X XXE XE XXXXXE / XXXXE X XXE XXXE XXXE X X X
```

最終ページ

```
<A I R / E X P >
LDR XXXXXX
B ARB PCS ZPCS WT(KGD) COMMODITY
SPC PCL LED A/L FLT ULP DST AG/CD RMK
X X XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 123.456 123.456 12.345.678 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX2E
XXE X XXE XE XXXXXE / XXXXE X XXE XXXE XXXE X X X
X X XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 123.456 123.456 12.345.678 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX2E
XXE X XXE XE XXXXXE / XXXXE X XXE XXXE XXXE X X X
X X XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 123.456 123.456 12.345.678 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX2E
XXE X XXE XE XXXXXE / XXXXE X XXE XXXE XXXE X X X
```

1通目と同じ出力情報コードで出力する。

搬出総個数の項目を追加。

HAWB 5,052件まで分のページ番号が表示される。

HAWB 5,052件以降分のページ番号が表示される。

#### (留意点)

- ・帳票印刷時に右上に表示されるページ番号は1通目、2通目で通番にはならない。例えば、HAWB最大件数9,999件の登録が行われた場合、1通目(230ページ)と2通目(227ページ)で合計457ページとなるが、1/457とは表示されず、1通目、2通目の繰り返し件数に応じたページ番号が表示される。



## Ⅶ 詳細仕様検討結果

共通	航空	第17回 WG	基本 IV-6-他	B I L L 請求先欄の追加及びB I L L 請求先情報の補完機能の改善
----	----	------------	--------------	--

- ・「輸入申告事項登録 ( I D A ) 」業務等に「蔵置料金請求先」欄を新規追加し、同欄に入力された場合、O U T 業務の際「F」を入力すると請求先を補完する仕様とする。(詳細は継続検討中)

### 詳細仕様検討結果

#### 次期 (第6次) NACCSにおける対応

- ✓ 「輸入申告事項登録 ( I D A ) 」業務等 ( ※ 1 ) の共通部に「蔵置料金請求先」を新規項目追加する。

記事 (税関)	<input type="text"/>
記事 (通関)	<input type="text"/>
記事 (荷主)	<input type="text"/>
荷主セクションコード	<input type="text"/>
社内整理番号	<input type="text"/>
荷主 Ref No.	<input type="text"/>
蔵置料金請求先	<input type="text"/>

入力画面の最下段へ追加する (航空のみ)

- ( ※ 1 ) 対象業務 「輸入申告事項登録 ( I D A ) 」業務  
「シングルウィンドウ輸入申告事項登録 ( S W A ) 」業務  
「輸入申告変更事項登録 ( I D A 0 1 ) 」業務  
「輸入マニフェスト通関申告 ( M I C ) 」業務  
「輸入マニフェスト通関申告変更 ( M I E ) 」業務

- ✓ 「輸入申告事項登録 ( I D A ) 」業務等の実施時に「蔵置料金請求先」を入力し、「搬出確認登録 (一般) ( O U T ) 」業務実施時に「代理店」欄に「F」を入力することで「蔵置料金請求先」が補完される仕様とする。

#### 通関業

- ・申告者と蔵置料金請求先が異なる場合 → I D A 業務等時に「蔵置料金請求先」欄に入力
- ・申告者と蔵置料金請求先が同一の場合 → 入力不要

#### O U T 業務実施者

- ・O U T 業務時は「代理店」欄に「F」を入力すると、「蔵置料金請求先」に入力された利用者コードが補完される。
- ・I D A 業務等時に「蔵置料金請求先」欄が入力されていない場合は、現行同様に申告者コードが補完される。
- ・現行同様「代理店」欄に蔵置料金請求先の利用者コードを任意入力することも可能。

